

1. 科目名 (単位数)	教育方法論 (ICT 活用含む) (幼) (2 単位)		3. 科目番号	SJMP2208
2. 授業担当教員	後藤 泰博			
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係	特に限定しないが、教育学概論を受講していることが望ましい			
7. 講義概要	Society 5.0の社会に生きる子供たちの「個別最適な学びと協働的な学び」・「主体的・対話的で深い学び」を実現するためには、幼児期から発達に即した学びを体験させておく必要がある。幼児教育を担おうとする学生は、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手掛かりに、幼児の自発的な学びとしての「遊び」「模倣」等の意味を考えるとともに、「環境を通して行う教育」の方法の理論と実践について理解しておくことが重要である。本講義は、幼児教育を職務として携わる視点から、幼児・児童の側に立った指導方法、教材の検討、地域の人材活用、コンピュータなどの情報機器を利用した教育方法等について学習する。さらに、今日の課題である幼・保・小の校種間の連携や、家庭との連携のあり方について考える。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>「環境を通して行う教育」の方法の理論と実践について理解する。</li> <li>幼児の自発的な学びとしての「遊び」「模倣」等の意味を考え、幼児理解を深める。</li> <li>幼児教育における保育の概念や様式についての理解を深めるとともに、職務の ICT 化を考える。</li> <li>幼・保・小の連携や地域社会との連携のあり方について考え、自分の意見を言うことができる。</li> </ol>			
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	学習前に教科書を読んでくれることが好ましい、最低限前時に配布した課題プリントはやってくること。レポートについては、講義の中で説明を行うが夏季休暇の前に1000字程度、期末に1500字程度のレポートを提出する。			
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 小田豊・榎沢良彦編『新しい時代の幼児教育』有斐閣アルマ <b>【参考書】</b> 多田敏文著『教育の方法と技術』学芸図書株式会社			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> <li>「環境を通して行う教育」の方法の理論と実践についておおむね理解できたか。</li> <li>幼児教育の方法について、自分の考えや、疑問を持ち、討論などを通して深めることができたか。</li> </ol> ○評定方法 [日常の授業態度、提出物等を総合して評価する] <ol style="list-style-type: none"> <li>日常の授業態度 (参加、実践、態度) 総合点の 40%</li> <li>授業後の提出物・レポート・テストなど 総合点の 60%</li> </ol>			
12. 受講生へのメッセージ	幼児教育の方法の歴史と理論を体系的に概観し、幼児教育の様々な方法とその意味についていっしょに考えましょう			
13. オフィスアワー	初回講義時に通知する			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	オリエンテーションー幼児教育の方法とは 学習者の幼児期の体験をもとに、どのような学びをして おくことが重要だと考えるか話し合う。これからの社会 で生きるために資質や能力を考える。	事前学習	シラバスを読んで、学修の概要を知る。	
	幼児教育における ICT 活用の意義 (必要性) および 在り方についても学ぶ。	事後学習	「学び」について考えを整理する。	
第 2 回	西洋における幼児教育思想と教育方法の歴史・カリキュ ラム研究の成立と展開	事前学習	教科書 pp. 1~20 を読んでくる	
		事後学習	コメニウス・フレーベル・ヘルバルト・デュ ーイについてまとめ、構造的に覚える	
第 3 回	幼児教育の「環境を通して行う教育」と「学び」につ いて学び合う。	事前学習	教科書 pp.27~39 を読んでくる	
	環境としての外部人材 (機関) との連携および園にお ける ICT 環境を含む整備の在り方についても理解す る。	事後学習	幼児にとっての共同体の意味と環境をまと める。	
第 4 回	幼児教育の課題 幼児期の終わりまでに育ってほし い姿について知り、現代の環境と幼児の育ち・道徳性 の育成・生きる力の育成・多文化理解の方法について 考える。	事前学習	教科書 pp.40~49 を読んでくる。	
	園におけるオンライン教育の意義およびシステムの 使用法についても理解する。	事後学習	現代の環境と幼児の育ち・道徳性の育成・生 きる力の育成・多文化理解についてまとめる	
第 5 回	幼児の学び・発達と環境 幼児にとっての「遊び」・ 「模倣」の意味と「三つの自立」及び望ましい発達を 学び合う。	事前学習	教科書 pp.51~73 を読んでくる	
	特別な支援を要する幼児に対する ICT 活用の意義およ び留意点についても学ぶ。	事後学習	幼稚園教育要領を読み、「三つの資質と 10 の力についてまとめる。	

第6回	<p>幼児の学び・発達と環境 環境と幼児の発達の姿・遊びを通しての学び・幼児期に必要な体験</p> <p>特別な支援を要する幼児に対する ICT 活用の意義および留意点についても学ぶ。</p>	事前学習	教科書 pp.73~84 を読んでくる。
		事後学習	幼児期に必要な体験についてまとめる
第7回	<p>幼児教育の方法 ①与えられる「方法」と探りあてる「方法」</p> <p>遊びの中に生かされる ICT 活用の方法についても学ぶ</p>	事前学習	教科書 pp89~102 を読んでくる
		事後学習	与えられる「方法」と探りあてる「方法」について具体的場面の適用をまとめる。
第8回	<p>幼児教育の方法 ② 幼稚園教育要領に見る方法・遊びを通して指導するということ・子供の主体性を生かすということ。</p> <p>ICT の活用を含め、幼児教育の基礎的な指導法をも身に付ける。</p>	事前学習	教科書 pp.116~137 を読んでくる
		事後学習	子供の主体性について考え、まとめる
第9回	<p>教育の道具・素材・環境を考える</p> <p>ICT 活用が、道具・素材・環境にどのように関わっていくのか理解し、幼児教育の基礎的な指導法をも身に付ける。</p>	事前学習	教科書 pp.142~156 を読んでくる ハサミを持参すること
		事後学習	体験活動の発達に合わせた提示と教師の言葉についてまとめる
第10回	<p>教育実践を支える理解 教育実践と幼児理解・理解の内容・教える人の姿勢・実践研究</p>	事前学習	教科書 pp.169~188 を読んでくる。
		事後学習	幼児理解・理解の内容・教える人の姿勢についてまとめる。
第11回	<p>共同体づくりということ・幼稚園・保育所・認定こども園の中で身につけるべき資質</p> <p>学習履歴等の教育データ活用の指導や学習評価の活用における ICT 活用および教育情報セキュリティの重要性について理解する。また、ICT を活用した園におけるシステムの在り方についても理解する。</p>	事前学習	教科書 pp.197~221 を読んでくる
		事後学習	幼稚園・保育所・認定こども園の中でつけるべき資質についてその共通性とその後の中教育への関連をつかむ。
第12回	<p>現代の保育内容・幼児期から児童期への教育</p> <p>「三つの自立」から「学力の三つの要素」の関連について考え合う。ICT を活用して提案しあう。</p>	事前学習	配布物を読んでくる。
		事後学習	具体的な授業づくりについてのプランニングをする。
第13回	<p>模擬授業の発表・協議</p> <p>模擬授業を計画する際、ICT 活用（情報モラルを含む）についての内容を理解するとともに、幼児教育の特性に応じた指導事例を理解し、基礎的な指導法をも身に付ける。</p>	事前学習	学習成果を生かして5歳児での模擬授業について計画を作成して臨む。
第14回	<p>模擬授業の発表・協議</p> <p>模擬授業を計画する際、ICT 活用（情報モラルを含む）についての内容を理解するとともに、幼児教育の特性に応じた指導事例を理解し、基礎的な指導法をも身に付ける。</p>	事前学習	授業の評価の意義について、調べておく。
		事後学習	授業の構成要素について、自分の大切にしたいことを選びレポートを考える。
第15回	<p>幼小連携ということ・子供達の未来を考える授業のまとめ</p> <p>園や学校における ICT 環境の整備の在り方を理解するとともに、教育情報セキュリティの重要性についても理解する。</p>	事前学習	教科書 pp.222~238 を読んでくる
		事後学習	教育方法論で得た学びを整理する。
期末試験			